

2018年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2018年2月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

2018年3月期 第3四半期決算サマリー

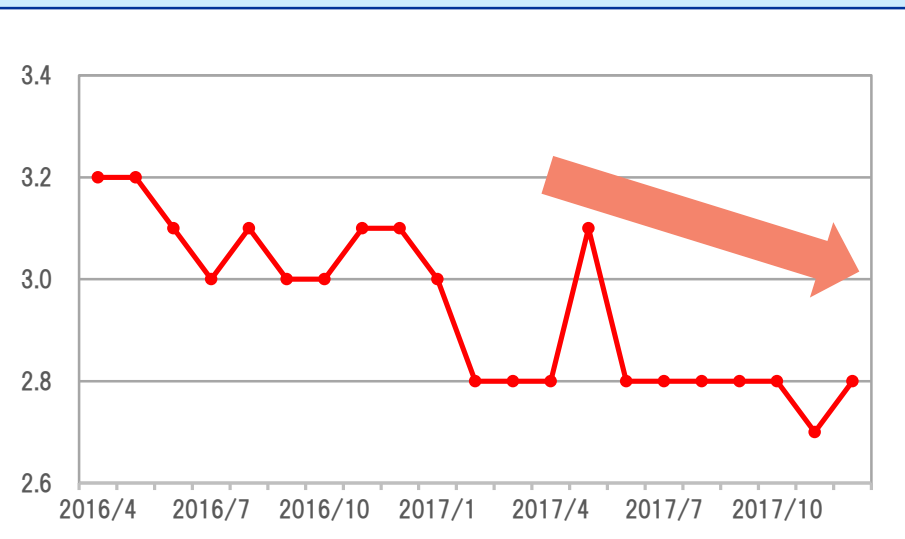
- 日本銀行のマイナス金利政策や政府の住宅取得支援策が継続しているものの、新設住宅着工戸数は前年同期を下回る
- 新規提携が進み、第3四半期累計期間にて銀行1行、JA9組合の合計10機関と契約締結
- 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益、利益ともに順調に推移
- 代位弁済の発生が低位で推移したことなどにより、営業費用(与信関連費用)は計画を下回る

決算の概要

経済環境

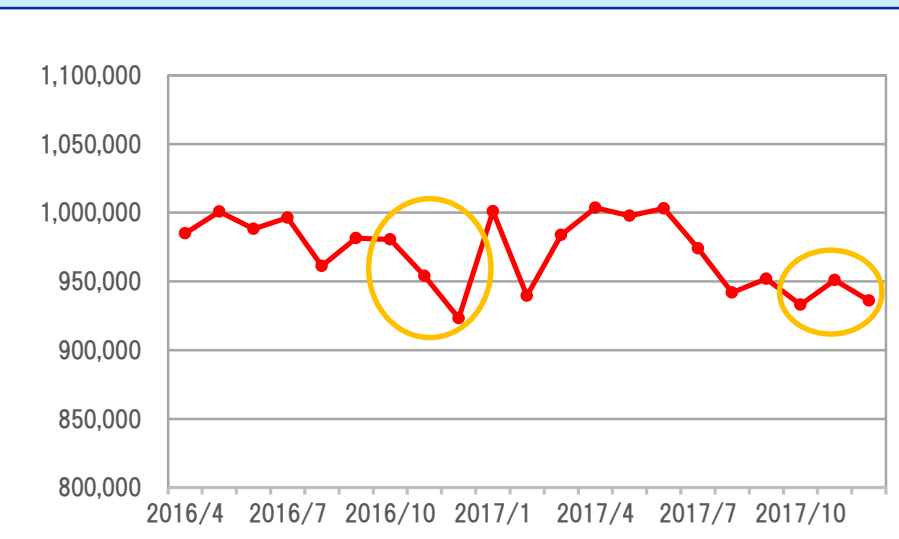
- 海外経済の先行きに留意を要するが、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、個人消費も緩やかに持ち直すなど、回復基調が続く
- 住宅市場については、日本銀行のマイナス金利政策や政府の住宅取得支援策が継続しているものの、新設住宅着工戸数は前年同期を下回る
- 住宅ローン市場については、住宅ローン金利低下により高まっていた借換需要に落ち着きが見られ、金融機関は新築、中古を資金用途とする住宅ローン案件について積極的な推進を継続

失業率(季節調整値)
(2016年4月~2017年12月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)
(2016年4月~2017年12月) (単位:戸)

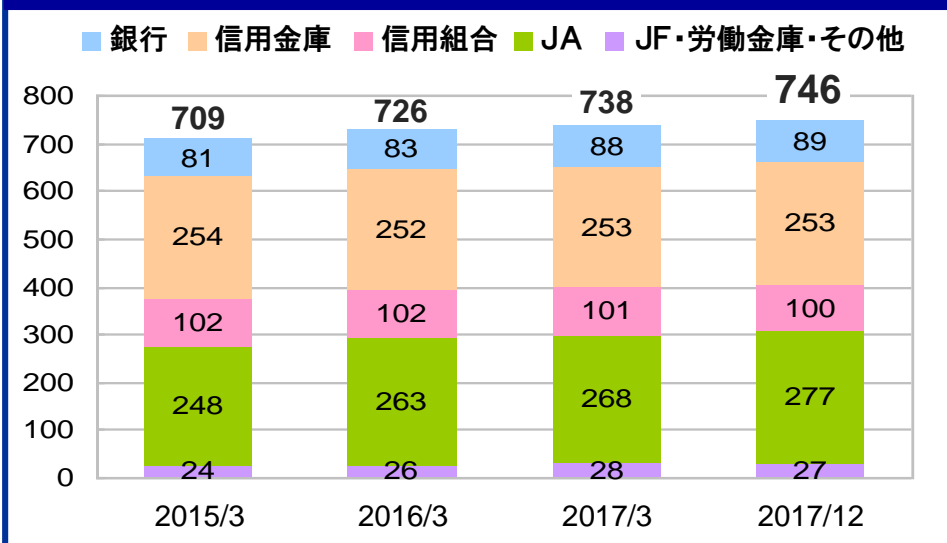


出所:国土交通省 住宅着工統計

提携金融機関数の拡大状況

業態別の提携金融機関数の推移

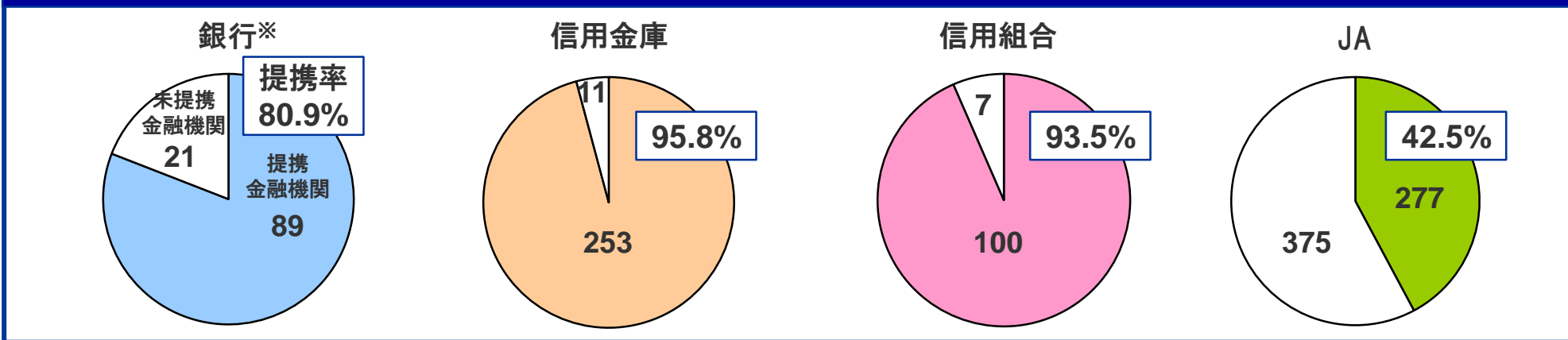
(単位:機関)



- 新規提携増加に努めた結果
2018年3月期第3四半期累計期間において
銀行1行、JA9組合と契約締結

業態別の提携シェア

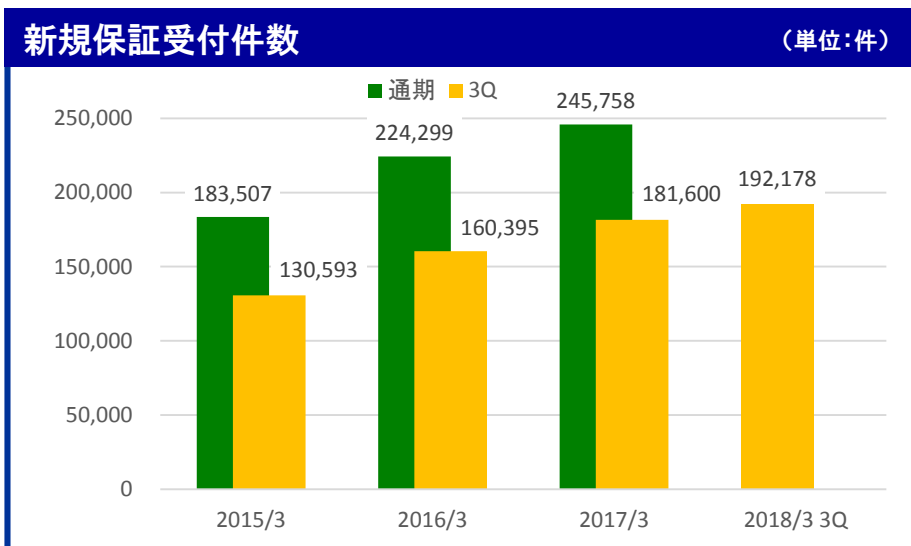
(単位:機関)



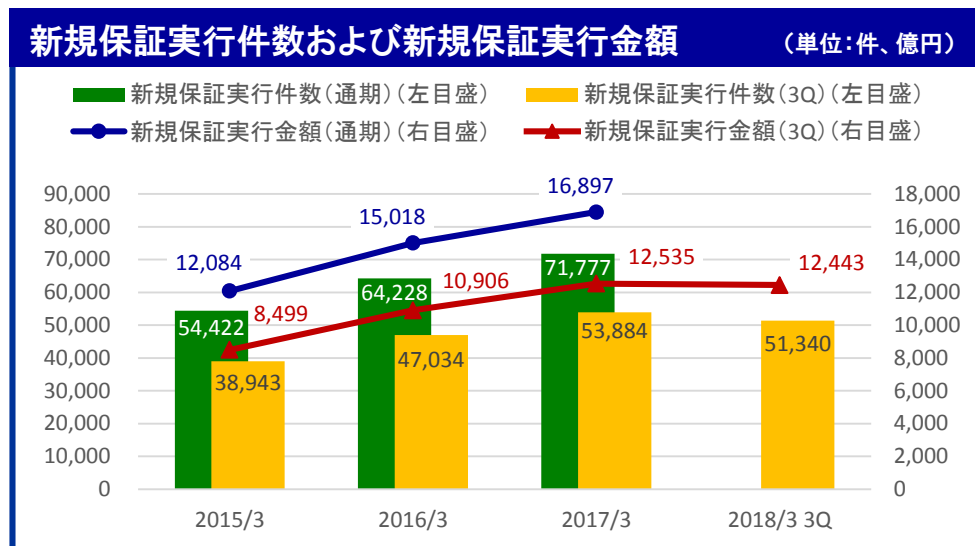
*銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行の合計

ローン保証業務の拡大状況

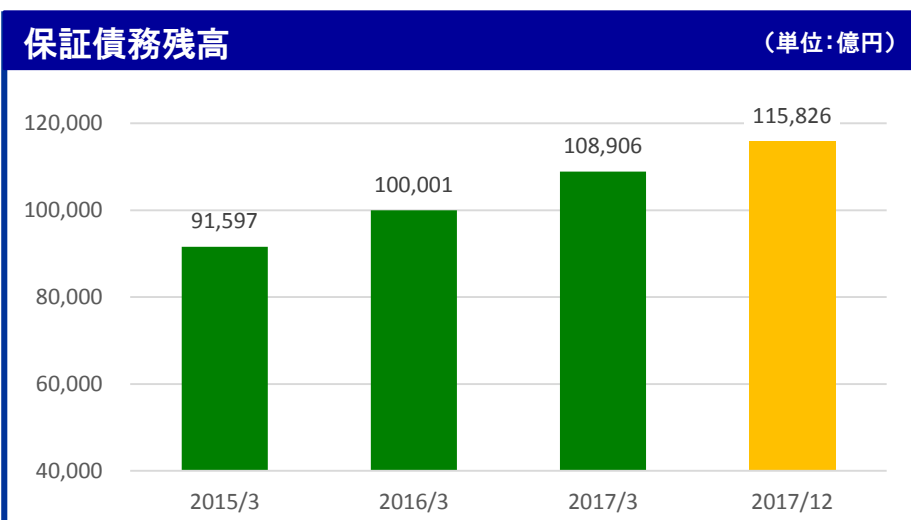
● 2018年3月期第3四半期の新規保証実行件数は、借換需要に落ち着きが見られ減少



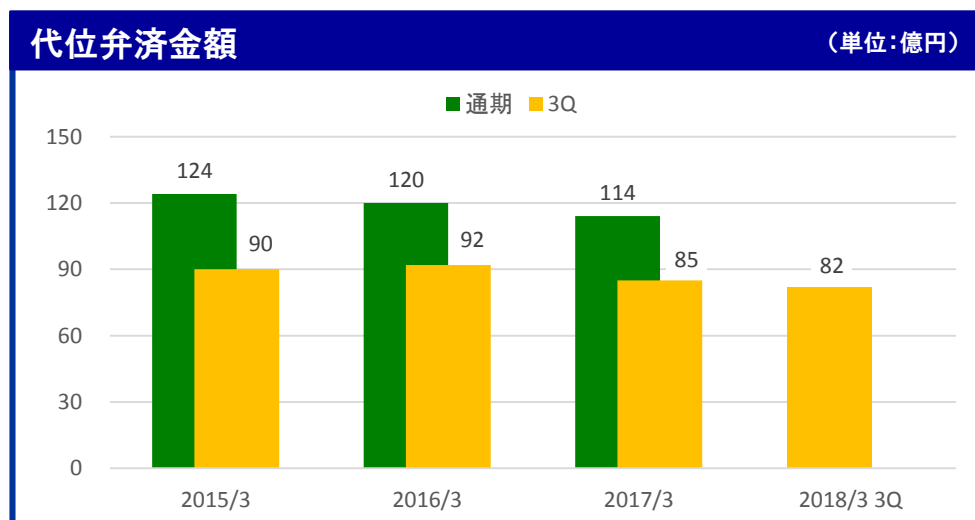
※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値



5 ※当第3四半期会計期間の保証債務残高のうち、一部は推計値を使用



2018年3月期 第3四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	17/3期 第3四半期	18/3期 第3四半期	前年 同期比
営業収益	21,400	22,887	6.9%
営業費用	5,978	6,302	5.4%
うち与信関連費用	1,821	1,986	9.1%
債務保証損失引当金繰入額	2,146	2,516	17.2%
貸倒引当金繰入額	▲325	▲530	62.8%
うちその他	4,157	4,315	3.8%
営業利益	15,421	16,584	7.5%
経常利益	16,145	17,170	6.3%
特別損益	▲454	53	—
四半期純利益	10,714	11,889	11.0%

ポイント

- 営業収益**
 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は228億87百万円を計上。
- 営業費用**
 代位弁済の発生が低位で推移したことなどにより、与信関連費用は19億86百万円となった結果、営業費用は63億2百万円を計上。
- 四半期純利益**
 上記の状況により、四半期純利益は118億89百万円を計上。

2018年3月期 第3四半期決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	17/3期末	18/3期 第3四半期末	増減比
流動資産	196,872	189,615	▲3.7%
現金及び預金	172,852	172,869	0.0%
求償債権	11,481	12,454	8.5%
有価証券	4,822	7,220	49.7%
金銭の信託	10,058	—	▲100.0%
貸倒引当金	▲6,355	▲6,786	6.8%
固定資産	66,479	86,516	30.1%
投資その他の資産	65,919	85,928	30.4%
投資有価証券	54,053	69,254	28.1%
資産合計	263,352	276,132	4.9%

	負債の部 (単位:百万円)		
	17/3期末	18/3期 第3四半期末	増減比
流動負債	27,609	24,321	▲11.9%
前受収益	14,552	15,337	5.4%
債務保証損失引当金	7,079	6,956	▲1.7%
固定負債	145,592	153,876	5.7%
長期前受収益	145,543	153,811	5.7%
負債合計	173,202	178,198	2.9%
純資産の部			
株主資本	90,021	97,641	8.5%
評価・換算差額等	36	167	359.9%
純資産合計	90,149	97,933	8.6%
負債・純資産合計	263,352	276,132	4.9%

ポイント

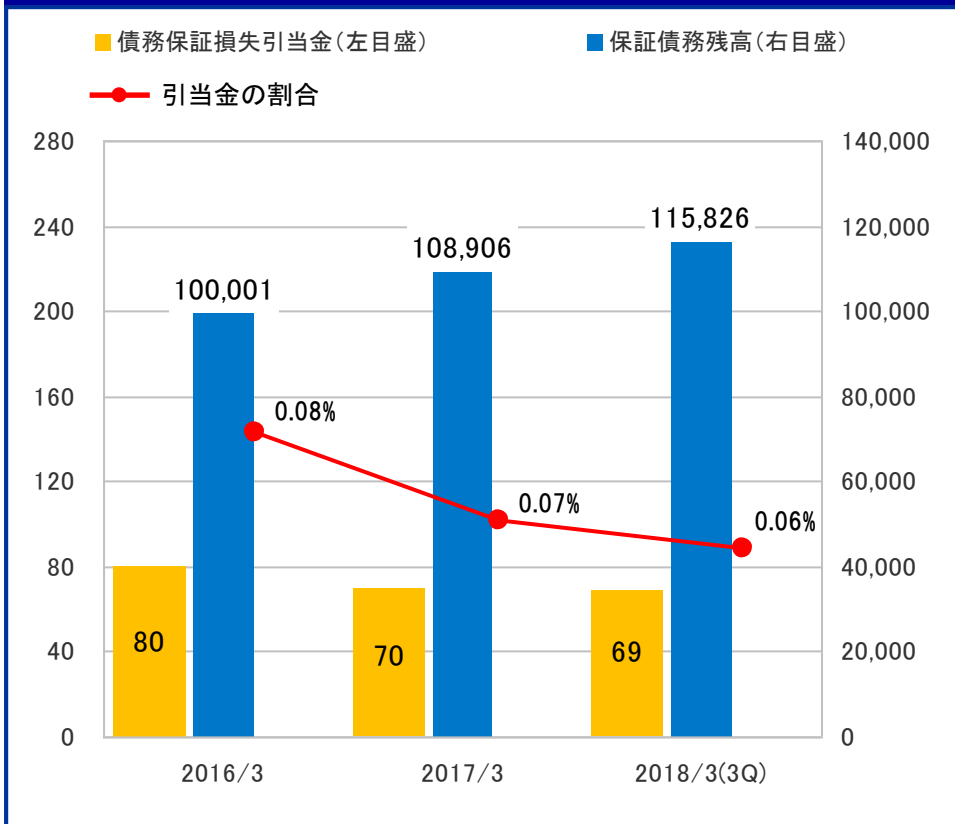
●資産
社債購入および長期預金の預入により投資その他の資産が増加。

●負債
新築・中古を資金用途とする案件の増加等の影響によって新規保証実行金額が前年同期並みとなり、保証債務残高が増加し「長期前受収益」が増加。

債務保証損失引当金について

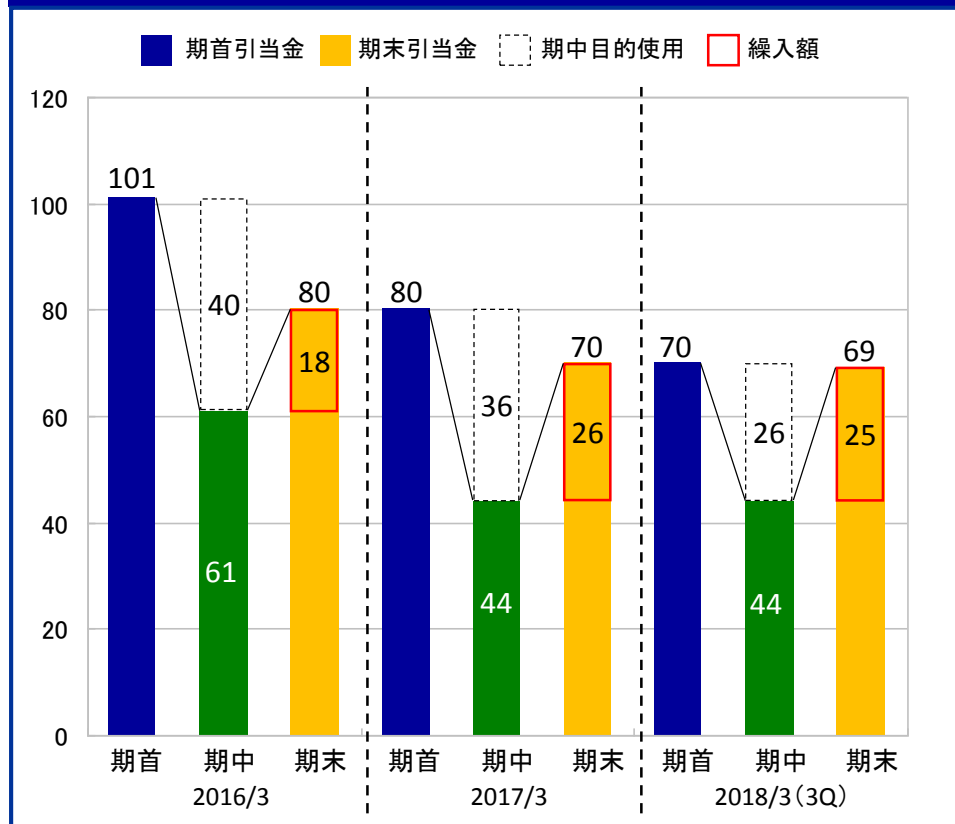
- 保証債務残高に対する引当金の割合は低下
- 2018年3月期第3四半期の債務保証損失引当金繰入額は、代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として計画を下回り、25億円となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



※引当金の割合の値は小数第3位を四捨五入して表示しております

債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります

業績予想

(単位:百万円)

	17/3期	18/3期		前期比
		第3四半期	通期予想	
営業収益	35,918	22,887	38,230	6.4%
営業費用	7,778	6,302	9,440	21.4%
うち与信関連費用	2,030	1,986	3,320	63.5%
債務保証損失引当金繰入額	2,676	2,516	3,620	35.3%
貸倒引当金繰入額	▲645	▲530	▲300	▲53.5%
うちその他	5,747	4,315	6,120	6.5%
営業利益	28,139	16,584	28,790	2.3%
経常利益	29,001	17,170	29,570	2.0%
当期純利益 (四半期純利益)	19,530	11,889	20,350	4.2%

業績予想の前提	
保証債務残高	11兆7,660億円
新規保証実行件数	74,000件
代位弁済金額	12,100百万円
求償債権回収	7,700百万円

その他	
ROE	19.5%
配当金(1株当たり)	74円